



安武 裕真さん
Yuma Yasutake
[みらい株式会社]

熊本市出身。自身もテレワークセミナー受講がきっかけで、同社のマネージャーとして活躍している。

大矢 元起さん
Motoki Ohya
[みらい株式会社 取締役]

これまで天草市を主な拠点とし進出企業と地域との橋渡し役になるべく活動。地域資源を活かした「持続可能な地域社会」を目指す。

人と人がつながり 地域の未来を創り出す拠点

敷地の中央の緑が生い茂るシラカシがシンボルツリーの「甲佐町起業等応援施設」。町商店街の中心部に建つ同施設を「新しい働き方の実現に向けた取り組みを応援しながら

ら、地域住民の交流や活動の場として人と人がつながる場所にした」と話すのは、同施設の管理運営を担うみらい(株)取締役の大矢元起さんとマネージャーの安武裕真さん

ん。
5月にオープンした同施設は、サテライトオフィスとして利用できるレンタルオフィスや会議や地域の寄り合いなどでも使えるサロンスペースなどを有する施設。週3日常駐し、施設予約の受け付けや管理業務を行う安武さんは、「自由な使い方ができるので、マルシェイベントや講座の開

催などにもおすすめです」とPR。敷地内にはベンチや芝生の広場があり、晴れの日には、遊びに集まった近所の子どもたちの笑い声も聞こえてくる。「芝生広場など貸切利用がなければ皆さんに自由に使っていただくことができません。イベントや講座を通じて親しみを持ってもらい、気軽に立ち寄ってもらえる場所にしたいです」と安武さんは優しく微笑む。

施設運営と並行してみらい(株)が進めているのが、「テレワーク」による雇用創出の取り組み。在宅で働きたい人を対象に、Zoomやチャットツールの使い方、デザイン、SNS運用などテレワークに必要な実践的なスキルを学べる講座を提供しており、多くの方が受講した実績がある。「大事なものは、外から来た企業と地域の人をつなぐこと」と語る地域コーディネーターとしても活動する大矢さん。東京のIT企業でエンジニア育成に携わっていたときに、育てた人材がより条件の良い企業へ次々と転職して

いく現実直面し、首都圏の企業では慢性的な人材不足が続いていることに課題を感じたという。「地方で人材を育て、テレワークという形で企業とつなげることができれば、地域にも企業にもメリットが生まれるのではないかと」の気付きから、天草への単身移住を決意。そこで地域住民との信頼関係を築きながら、テレワーカーの育成や企業とのマッチングに取り組んできた。「きれいな水や豊かな自然など甲佐の魅力ある資源を活用し、企業と地域が交わる拠点を目指したい」と本町の活性化に思いを馳せる。

今後本町のニーズに寄り添いながら、イベントや講座を企画し、地域と企業を結び取り組みを進めていくという大矢さん。「人と人とのつながりがあるからこそ、企業は地域に根付き、町に活気やにぎわいが生まれる。これから住民の皆さん、商店街の皆さん、地元企業の皆さんと一緒に甲佐町の明るい未来を考えていきたい」と朗らかな笑顔で町の明日を見つめる。